



Information

検査 No.2017-36

平成 29 年 7 月

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、EGFR 遺伝子変異解析《血漿》におきましては、当該検査項目の特性に鑑み、専用採血管および専用の提出容器を採用することと致しました。

つきましては、EGFR遺伝子変異解析《血漿》ご依頼の際は、専用容器をご使用のほどお願い申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛け致しますが、弊社事情をご賢察のうえ、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

対象項目

- EGFR遺伝子変異解析《血漿》 : 項目コード 7691

詳細につきましては、裏面を参照お願い致します。

変更日

平成29年8月7日(月)受託分より変更



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

平成29年8月7日(月)受託分より変更

項目コード*	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
7691	EGFR遺伝子変異解析《血漿》	容器	容器コード: サ ※1 詳細については、 下記をご参照願います	B ↓ X-5	※2	132

※1 容器コード「サ」は新設容器のため、2017年版総合検査案内には掲載されておりません。

※2 検体必要量(血漿 5.0mL)に変更はございません。

採取容器をご要望の際は、弊社担当営業員までご連絡ください。

▼ 変更後の新容器(EGFR 遺伝子変異解析《血漿》専用容器)



▼ 採血時の注意点

- 専用 EDTA-2K 真空採血管をご使用ください。
- 採血管の規定量の血液を採取してください。
- 採血直後、ゆるやかに5~6回転倒混和を行ってください。
- 転倒混和後の試験管を激しく振ったり、衝撃を加えたりしないでください。
- 採血前に激しい運動は避けてください。

▼ 採血後処理の注意点

- 採血後は常温にて遠心分離(1,300g、10分間)を実施してください。
- 白血球由来のゲノム DNA の混入を避けるため、
 - ① 専用採血管ごとに滅菌スポイトを用いて、血漿 2.5mL 以上を滅菌スピッツに移し換えてください。バフィーコート(BC)の混入が無いよう十分にご注意願います。
 - ② デカンテーションによる分取は絶対に行わないでください。

▼ 血漿検体保存の注意点

- 滅菌スピッツに分取した血漿は-20℃以下の冷凍庫にて凍結し、検体提出まで保存してください。
- 採血から凍結保存までの作業は4時間以内に完了してください。

